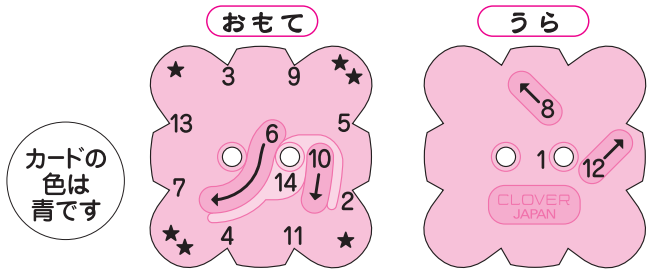


アジア 結美 むすび

ボタン結び

チャイナ服の飾りボタンによく使われる結びです。平たく結んで周りに余りヒモでアクセントをつけたり、丸く結んで止めボタンに使います。



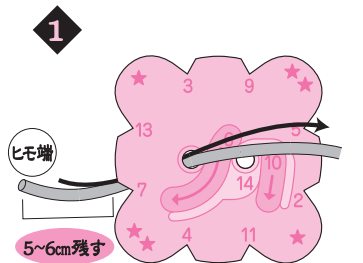
カードの色は青です

〈はじめに〉

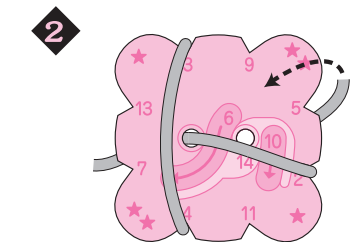
- 1~14まで、カードの数字の順番にヒモをかけていきます。
- 矢印 → のついた数字(6,8,10,12)の時は、カードにかかったヒモの下をくぐらせます。

基本の手順

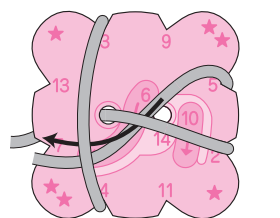
用意するもの… 太さ1~3mmくらいのヒモ(50cm程度)・接着剤(透明に仕上がるタイプ)



ヒモを裏側の1の穴から通して表側に引き出します。

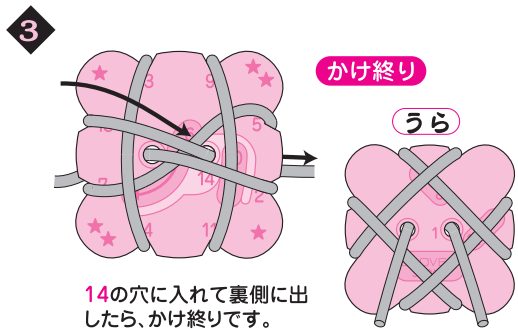


ヒモを、番号順に切り込みにかけていきます。

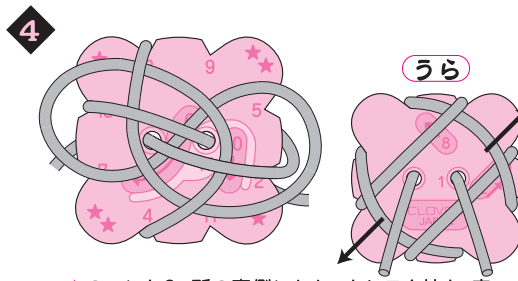


6→ のように矢印のついた数字では、カードにかかったヒモの下をくぐらせます。

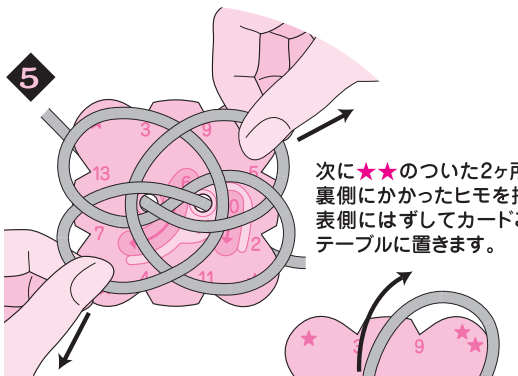
13まで順にヒモをかけてゆきます。8,12は裏側にあります。



14の穴に入れて裏側に出したら、かけ終りです。



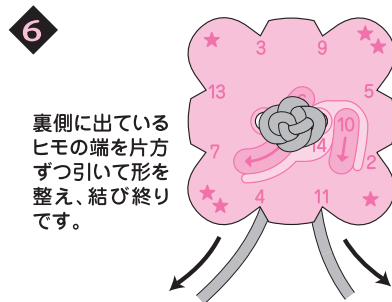
★のついた2ヶ所の裏側にかかったヒモを持ち、表側に引いて、カードからはずします。



次に★★のついた2ヶ所の裏側にかかったヒモを持ち、表側にはずしてカードごとテーブルに置きます。

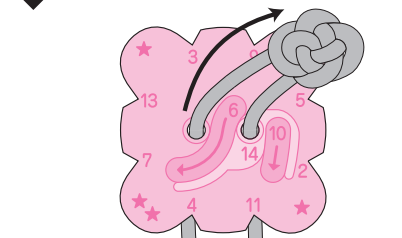


そのまま★★の輪をイラストの矢印のように引いて、結び目を軽く引き締めます。

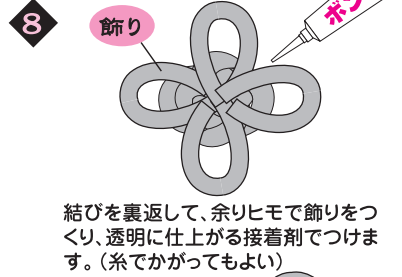


裏側に出ているヒモの端を片方ずつ引いて形を整え、結び終りです。

7 結びをカードからはずします



崩さないように気をつけながら、結びをカード表側にはずします。



結びを裏返して、余りヒモで飾りをつくり、透明に仕上がる接着剤でつけます。(糸でかがってもよい)

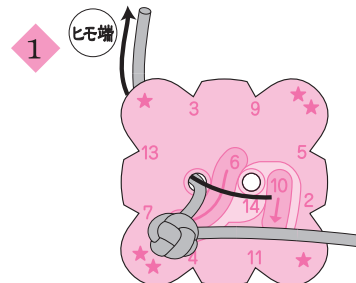
完成



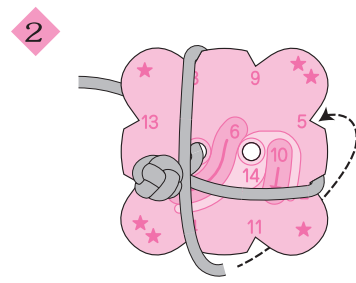
結び目を強く引き締めれば止めボタンができます。

応用編 …連続して結ぶ方法

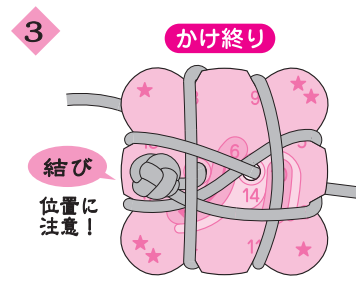
用意するもの… 太さ1~3mmくらいのヒモ(80cm程度)



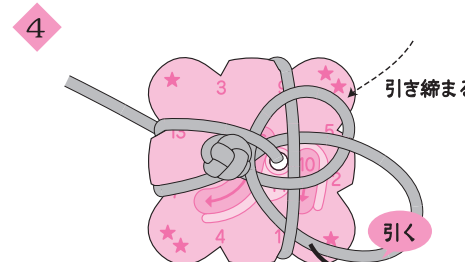
結びをつけたヒモの短い端を表側から1の穴に通します。(長い端は45cm以上必要です)



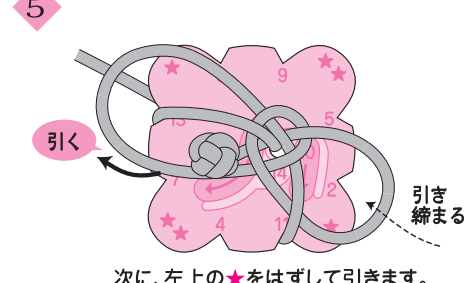
2→3→4…と番号順にかけていきます。



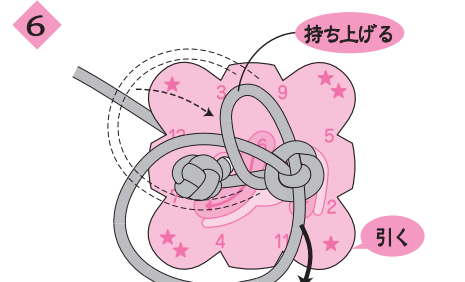
結び位置に注意!



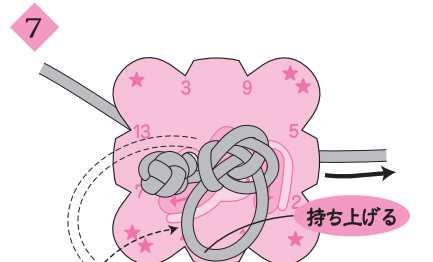
右側の★と★★にかかったヒモははずします。下の輪を引くと上の輪が引き締まります。



次に、左上の★をはずして引きます。右下の輪が引き締まります。

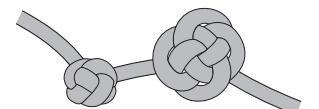


最後に左下の★★をはずして引きます。この時、輪を持ち上げて輪が結びより右側になるようにします。



14の穴から出ているヒモの端を裏側から引き、形を整えます。この時も輪を持ち上げて結びが輪の中に入らないようにします。

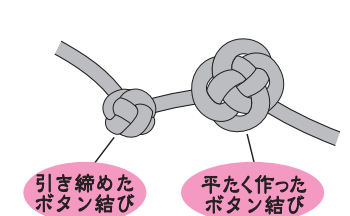
完成 結び終り



作品例 …チャイナ風カフスポタンを作ってみましょう

用意するもの… ヒモ100cm程度

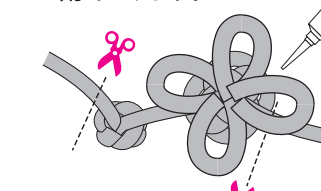
1 「応用編」の手順で、連続したボタン結びを作ります。



引き締めたボタン結び

平たく作ったボタン結び

2 結びを裏返して、平たい結びの方に飾りの輪を接着剤でつけます。



真横からみたところ

使用上の注意

- 商品の機能上 柔らかい樹脂でできています。ヒモによる摩擦や爪などでもキズが付きやすいので、取り扱いに注意して下さい。
- ストーブの周りや車内など、高温になるところや直接日光の当たる所に放置しないで下さい。変形の原因になります。

〈おためしヒモについて〉

- 水ぬれや光により色落ちする場合があります。直射日光を避け、湿気の少ない所に保管して下さい。
- 水ぬれや摩擦により、紐の堅さやツヤなどの特長が、損なわれることがあります。
- 衣服などに接する場合、汗や水ぬれなどにより色移りすることがあります。充分にご注意下さい。